

令和3年度 山王中学校区小中一貫教育推進事業報告

- 1 中学校区 山王中 山王小 御狩場小
- 2 研究主題 ユニバーサルデザインを意識した授業、学年・学級経営の展開
- 3 取組の概要 子供一人一人が学校生活を送りやすくすることができるよう、教師がユニバーサルデザインの考え方を踏まえた上で、授業に取り組んだり、学級経営を展開したりすることができるように共通理解を図る。
今年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、主題と取組の概要を各校で共有した上で、状況を踏まえた講演会実施、環境整備等をそれぞれで行うこととした。

4 各校の取組

(1) 山王中

【視覚刺激の低減】

- ・教室前面から収集する情報の低減
→棚や掲示物へのカーテンの設置を通して、掲示物の情報を遮断したり、必要に応じて確認したりすることができるようにする。
※黒板の記載内容に意識を向けやすくなる

【明瞭性の向上】

- ・蛍光チョークの使用を通じた明瞭性の向上
→蛍光チョークの使用を通して、黒板の地の色とのチョークの色とのコントラストをより際立たせやすくすることができるようにする。
※黒板の記載内容をより短時間で確認しやすくする。

(2) 山王小

【視覚刺激の低減】

- ・教室前面から収集する情報の低減
→棚や掲示物へのカーテンの設置や模造紙の貼付を通して、掲示物の情報を遮断したり、必要に応じて確認したりすることができるようにする。
※黒板の記載内容に意識を向けやすくなる
- 教室前面の掲示物を見直し「学校教育目標・学年目標・発表の仕方のみ」にすることを通して、掲示物の情報を精選することができるようにする。
※黒板の記載内容に意識を向けやすくする。





【活動の見通しの共有】

- ・タイムタイマーを活用した活動の見通しの共有
- タイムタイマーの設置、使用を通して、時間についての活動の見通しを共有することができるようにする。(1, 2, 3年)
- ※時間の経過を視覚的にとらえることができるようにする。

【効率的な授業の進行】



- ・共有スペースの整理、整頓を通した授業の効率的な進行
- 「特別教室及び準備室、体育小屋、体育倉庫等の共有スペースを整理、整頓することで、どの教員も授業の準備や片づけを短時間でい、効率的に授業を進行することができるようにする。
- ※体育用具、図工道具等の定位置を定め、写真で正しい並べ方を示すようにする。

(3) 御狩場小

【考え方と実践の見通しの共有】



- ・講演会を通した考え方と実践の共有
- 8月に特別支援教育の指導助言者に、ユニバーサルデザインの考え方を生かした学級経営の展開について、その考え方と実践の見通しについてご講話をいただいた。そのことで、日々の子供たちとの接し方や子供を大切にすることについての考え方を再確認し、実践につなげることができるようにした。
- ※「学校におけるユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動」とは「“ユニバーサルデザイン” “バリアフリー” “構造化”などの考えを活用し、より多くの児童生徒が安心して参加できる環境設定を踏まえた指導、支援」ととらえて教育活動を進めることができるようにする。
- 2月に特別活動の指導助言者に、「一人一人を生かし、集団を育てる学級経営の展開」について、その考え方と実践の見通しについてご講話をいただいた。そのことで、「一人一人のよさを見取る・生かす」「学級経営とは集団ありきではない」などについての考え方を確認し、実践につなげることができるようにした。
- ※「配慮が必要な生徒への配慮は、全体への配慮となる。
マイノリティへの配慮なくして
これからの教育は成り立たない。」
ととらえる。

5 成果と課題

- 具体的な取組を確認し、日常化を図ることができた。
- 人事異動があっても継続できるようにしていきたい。